

健康意識向上で 生活习惯病予防

星機械設計（郡山市）

生活習慣病予防



健康経営アドバイザーが推薦する実践企業の取り組み紹介

健康経営が企業、地域を元気にする



出前講座で正しいウォーキングの姿勢を学ぶ社員

元気に働く環境づくり



星 照幸 社長
星機械設計

新卒者を多く採用し、現在30代以下が半数を占めていますが、最年長では69歳の社員が元気に働いています。アクサ生命保険さんは、社員一人ひとりの健康を考えた提案やサポートをしてくださり、感謝しています。

健康経営に取り組んでから、この数年、健康問題で仕事を断念せざるを得ないような社員は記憶にありません。これからも社員が活き活きと働ける環境づくりを進めていきたいです。

健康経営支援に努める



小平 謙市郎
星社長
星機械設計

星社長は「今後の経営に従業員の健康は欠かせない重要な課題」であることをいち早くご理解ください、社内規定の改定やワクチン接種の補助、セミナー参加など、さまざまな取り組みをされていました。私自身、社長の健康経営の考え方や行動により勉強させていた

だいているほどです。

今後もより一層、健康経営をサポートできるよう、セミナーのご案内や新しい情報を真っ先にお届けし、社長さま、従業員さまのお役に立つための努力をしていきます。

郡山市の星機械設計は機械やプランの設計、施工管理を手掛けた設計会社です。二〇一八（平成三十）年に社長が交代したのを機に、従業員の健康管理に経営的な視点から取り組む「健康経営」に力を入れ始めました。かつては高血圧や肥満などの健康リスクを抱える社員が多く、年一回の健康診断では再検査率の高さが課題でした。改善に向けてアクサ生命保険や全国健康保険協会（協会けんぽ）福島支部のアンケート調査を取り入れたところ、独身者の食生活の乱れやデスクワーク作業からくる運動不足が原因であることが分かつてきました。

社員の健康づくりをサポートするため、社長や管理職を中心とした安全衛生委員会を設置。県の保健師による個別訪問を受け入れるとともに、社内回覧で毎回、健康新聞に関する話題を取り上げて生活习惯を改善する意識を職場に広めました。

翌二〇一九（令和元）年十一月には協会けんぽ福島支部と県が推進する「健康事業所宣言」、十二月には従業員の健康づくりに積極度の「ふくしま健康経営優良事業所」に認定されました。

現在は協会けんぽの出前講座を利用し、年に三、四回、エクササイズやウォーキングなどの運動機会を提供しています。今年から食生活を改善しようと、昼食時に健康に配慮した弁当を宅配するサービスを始め、費用の半分を会社が負担して利用を促すなど課題だった運動と食事面に重点を置き、生活習慣病予防に取り組んでいます。社員たちが規則正しい生活習慣や食生活を心掛けるなど健康意識の高まりを感じています。今年三月には経済産業省の「健康経営優良法人2021」にも選ばされました。

コロナ禍が長期化する中、在宅勤務の増加に伴う運動不足やコミュニケーション機会の減少が新たな課題に浮上しています。ビデオ会議システム「Zoom」を利⽤して社員同士の親睦を保ちながら、気軽に運動する意識を維持しているほどです。

今後もより一層、健康経営をサポートできるよう、セミナーのご案内や新しい情報を真っ先にお届けし、社長さま、従業員さまのお役に立つための努力をしていきます。

私たち、健康経営への取り組みを応援しています